会　報

福島町 社協

88号

令和８年10月１日



福島小学校前で老人クラブと児童が花壇整備～
関係者で「ハイ・ポーズ！」



ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり

会報『社協』は「赤い羽根共同募金」の助成事業で作成しています

令和７年度事業の状況

地域福祉増進のため福島町社会福祉協議会は主に次のような事業を実施しました。

【福祉振興事業】

１．福祉関係団体助成事業
福島町身体障害者福祉協会など町内福祉関係団体の自主活動への支援を行いました。

２．ボランティア育成事業
地域ボランティア団体の育成のため各種ボランティア研修会への参加や団体の活動助成金の支援を実施しました。

３．地域助け合い除排雪事業
高齢者の生活を支援するため、町内会を単位に高齢者の見守りを通じて冬期間の生活の安全を図りました。２町内会の除排雪の実施がありました。

４．安心サポート電話事業
定期的に安否確認の電話を自動発信（令和８年３月末現在登録者＝７世帯）し、相談や体調不良等への対応を実施しました。

５．地域サロン事業
要望の多い軽スポーツとして、モルック体験を中心に、14会場で97人の参加者と交流促進を行い、日常生活での課題等の意見交換を図りました。

６．老人福祉事業
老人クラブ連合会事務局業務支援、敬老会記念品贈呈等

７．広報事業
年３回会報「社協」発行により情報提供

８．低所得者福祉事業
生活相談、生活福祉資金貸付等

【介護関連事業】

１．訪問介護事業
ヘルパーの訪問による予防給付の生活支援（軽度者家事援助等）及び介護給付の生活支援及び身体介護

２．訪問入浴介護事業
入浴車による重介護者の訪問入浴

３．居宅介護支援事業
介護、生活相談、ケアプランの作成

４．移送サービス
リフト車により、介護度が高い方や認知症が重く、一人では公共の交通機関を利用して病院受診できない方などの送迎（有料）
※Ｒ８年３月に24時間テレビチャリティ委員会より「リフト付バス」贈呈

【福島町委託の福祉事業】

１．障がい者地域活動センター設置
障がいを持つ方の交流と社会参加の支援や創作活動の窓口設置

２．特別支援学級介助員派遣事業
福島小学校に介助員を派遣し対象児童の学校生活の支援を行いました。

３．安心生活創造事業
個別訪問による高齢者の実態調査と、情報の整理、支援台帳作成等の活動を継続しました。【879名】
また、80歳以上の独居高齢者への声掛訪問を実施しました。【94名】

左の地域助け合い除排雪事業、安心サポート電話事業も基本的には安心生活創造事業と一体的な運用を行っています。

４．福島町福祉センター管理事業
福祉センターの管理及び貸し館受付などを行いました。

５．千軒地区デマンド型交通運行事業
３年目になりますが、千軒地区デマンド型交通の実証運行業務を行いました。

令和７年度一般会計収支決算状況

【収　入】　　【支　出】　　（単位：円）

科　目	決算額	説　明	科　目	決算額	説　明
会　費	1,186,500	一般会費 1,467世帯×500円=733,500円 賛助会費 107件453,000円	事務局費	8,593,277	職員人件費他 法人運営経費
共同募金助成金収入	835,000	広報活動等として共同募金委員会より	事業費	130,740	地域福祉事業 福祉団体、児童福祉、ボランティア等の助成等
補助金	8,047,289	町からの法人運営補助金（活動車１台更新補助含）等		18,788,233	訪問介護事業 介助員人件費、車両維持費
受託料	19,298,136	町からの受託他 安心生活創造事業 福祉センター他		5,112,061	訪問入浴事業 介助員人件費他
事業収入	20,758,284	ホームヘルプサービスなど介護保険サービス給付費他		4,791,560	居宅介護支援事業 介護支援専門員人件費他
寄付金	64,685	一般寄付 個人４件、団体２件		1,238,063	車両管理事業 移送サービス用リフト及び赤い羽根号維持費
雑収入	118,591	貸付償還金、預金利子他		7,058,547	福祉センター管理事業 人件費他
固定資産取得積立金取崩収入	741,000	活動車１台・ リフト車１台更新		5,760,913	安心生活創造事業 安心サポート電話、除排雪事業費
前年度繰越金	5,066,341			1,431,987	千軒地区デマンド型交通運行事業 運転手等人件費、車両管理費他
			諸支出金	262,500	各種負担金他
合　計	56,115,826		合　計	53,167,881	

収入合計56,115,826円 ー 支出合計53,167,881円 ＝ 次期繰越 2,947,945円

共同募金運動にご協力頂いております関係者の皆様へ



日頃より赤い羽根共同募金運動にご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。６月13日、上部団体である北海道共同募金会において多額の使途不明金がある旨、報道されました。毎年、ご協力を頂いている寄付者や関係者の皆さまに多大なるご心配と信頼を揺るがす重大な事態となり、町共同募金委員会としても誠に遺憾に存じます。

この度、北海道共同募金会より道民の皆さまへお詫びと再生のための取り組みについて通知がありましたので、お知らせいたします。共同募金は、当町でも社協の車両購入の補助や各種福祉事業の財源として活用されており、今後とも継続的な取り組みが必要であると考えておりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年８月24日

道民の皆さまへ

社会福祉法人　北海道共同募金会
会　長　瀬　尾　英　生

北海道共同募金会での不祥事のお詫びと再生のための取り組みについて

北海道共同募金会において多額の使途不明金が発生し、道民の皆さま、関係者の皆さまに多大なるご心配ご迷惑をおかけしていることに、心よりお詫び申し上げます。赤い羽根共同募金に対する信頼、そしてお預かりした浄財を職員の不適切な行為によって失ってしまい、誠に申し訳ございません。

また、この度の不祥事を起こしたことにつきましては、私ども北海道共同募金会という組織としての責任を重く受け止めており、再発防止に向けた取り組み、また現在までの北海道共同募金会の再生に向けた取り組みを下記のとおり公表させていただきます。

再生への道のりが長く険しいものになることは当然のことと覚悟をしておりますが、皆さまから叱咤激励をいただきながら、道民の皆さまからの信頼回復と赤い羽根共同募金運動の継続のため一歩一歩前進してまいります。

なお、使途不明金の原因究明につきましては、現在も行っており、今後も調査を進めてまいりますが、事実が判明次第、当人（前事務局長）への損害賠償請求や刑事告訴なども含めまして、改めて皆さまにも公表させていただく所存でございます。

記

《再生に向けた取り組み》

１.「赤い羽根共同募金運動の信頼回復に向けた再発防止策について」を作成しましたので、よろしければご一読いただきますようお願い申し上げます。（Ｗｅｂ）

２. 多額の使途不明金が発生した原因、再発防止策などについて調査・回答いただくため、第三者委員会の設置を進めており、すでに、弁護士会を通じて第三者委員会委員の推薦を受けています。

３. 現在の常務理事は８月31日をもって辞任し、新しい常務理事が９月１日に着任いたします。

なお、会長、副会長は、第三者委員会の回答に基づく再発防止策を作成したうえで、適正な手続きを経て交代いたします。

また、監事については、すでに辞任の意向を示しており、適正な手続きを経て交代いたします。

以　上



令和８年度も赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします！

実施期間 10月1日～12月31日

令和７年度は皆さまのご協力で募金総額1,051,586円となりました。どうもありがとうございます。この募金は、令和８年度に次のとおり活用されます。

Ｒ７年度　福島町共同募金の実績

No.	区　　分	金　　額	備　　考
1	法人募金	207,000	事業所
2	一般募金	796,200	町内会
3	職域募金	23,678	役場・福祉センター等
4	学校募金	24,708	小中高校
合　　計		1,051,586	

《翌年度に配分されます》

Ｒ８年度　福島町募金の配分

No.	区　　分		金　　額	備　　考
1	全道・広域使途計画充当額		165,894	福祉車両・行事テント等
2	渡島地方共同募金委員会		23,900	事務費（会議開催、事務消耗品等）
3	市町村地域助成額		861,792	※前年度募金の約８割が地域配分
	ア　福島町社協助成額		800,000	
		①敬老会事業	102,000	敬老会記念品贈呈
		②地域助け合い除雪事業	127,000	高齢者等の除雪支援
		③広報活動事業	153,000	社協だより発行
		④福祉活動車運行事業	165,000	老人クラブ・福祉団体等の送迎
		⑤移送サービス事業	125,000	リフト車での医療機関送迎
		⑥安心サポート電話事業	28,000	単身高齢者の安否確認サービス
		⑦児童福祉活動事業	30,000	町民なわとび大会の記念品代
		⑧ボランティア育成助成事業	50,000	ボランティア団体への運営助成
		⑨福島町身障協会助成金	20,000	身障協会への運営助成
	イ	福島町共同募金委員会助成	61,792	事務費（会議開催、事務消耗品等）
合　　計			1,051,586	

★上記アの50%（40万円）が、７月８日に配分

※緊急支援助成

※　この度の不祥事に伴い未交付分の支援を道共募から中央共同募金会（全国組織）に要請していたところ、８月26日に**「緊急支援助成」**を行う旨、通知がありました。

そのため、**残りの未交付分につきましては、11月中旬までに交付を受ける見込み**となったところです。なお、道共募では、元事務局長への損害賠償請求や、役員による賠償等で中央共同募金会の支援額を補てんすることで合意している旨、お知らせいたします。

健康状態に不安のあるあなた
社協の「安心サポート電話」を利用してみませんか？

登録はとっても簡単、費用はかかりません（但し、電話機によって利用できない場合もあります。）



社協職員

「安心サポート電話」のしくみ

①社協が委託している業者から、定期的に音声による安心電話をします。

「安心電話です。何か困っていることはないですか？」
特にない場合は電話の１番を押してください。
何か相談したい場合、又は、体調が悪い場合には９番を押してください。



一人暮らしＡさん

②電話先の高齢者（登録者）は、状態に応じてご自身の電話機のボタンを押して回答します。

例】 昨日から体がだるくて、ごはんも食べられないものだからなんかもう電話を取るのもやっとだし、心配だわ

そうだ、９番を押して「相談がある」って回答しよう



社協職員

③登録者の回答をコンピューターが整理して表示。

例】 あ、○○地区のＡさんが相談あるみたいだわ
まずは電話でお話を聞いてみよう

社会福祉協議会です、安心電話でご相談があると回答されていますが、どのような内容ですか？
体調が悪いのですね？　病院受診などされていますか？
今からお宅に伺います、無理せず横になっていてください。

④電話に回答しなかった場合、再度電話をしたり、職員が訪問します。

訪問の結果、救急車の依頼や、病院、親族の方へ連絡する場合もあります。

安心サポート電話に関するお問い合わせ、利用の申し込みのご相談は
本会事務局までお願いします。電話４７－２２８４・４７－５０８０

老人クラブ連合会の環境美化事業（６月23日に実施）

老人クラブ連合会では、吉岡温泉前、福島小学校前の２か所に、マリーゴールド、ペチュニア、サルビアなど５種類の花を植える環境美化事業を実施しました。各地域の老人クラブの皆さんが中心となって、今年は、450株の色とりどりの花を植えました。

福島小学校前では、３年生の子供たち10人と一緒に汗を流していましたが、「水やりも頑張ろうね！」など声掛けしながら楽しく花壇整備をしたところです。



吉岡温泉前で「穏内老友会」の皆さん

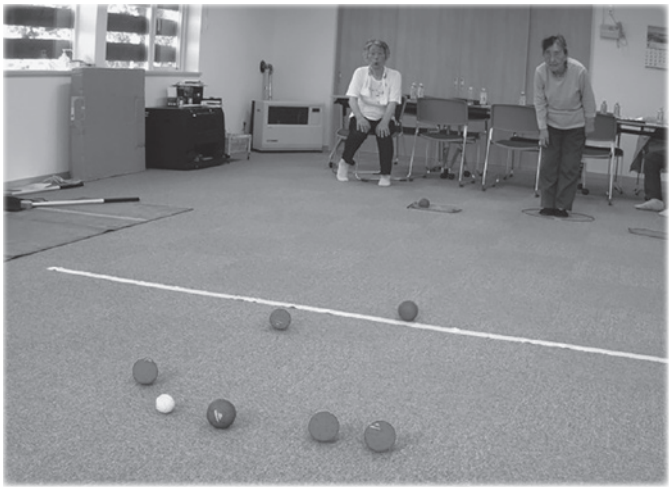

早速、「新生会・美杉会・福島小」で植えた花に水やり

さわやかサロン～軽スポーツでリフレッシュ！

町内会館などで地域福祉やボランティア事業に関する意見交換をはじめ、軽スポーツを通じた交流を行う「さわやかサロン」を実施しています。

今年度は、生命保険協会函館協会より寄贈頂いた軽スポーツ用具を活用し、ポケットボールと室内ペタンクを行っています。室内ペタンクは、カーリングにルールが似ていて、「町内会で借りて、又やってみたい！」など、軽スポーツを楽しんでいました。


月崎地区でポケットボール（5/28）


白符地区で室内ペタンク（6/18）

★★★ 介護職員スキルアップ研修 ★★★

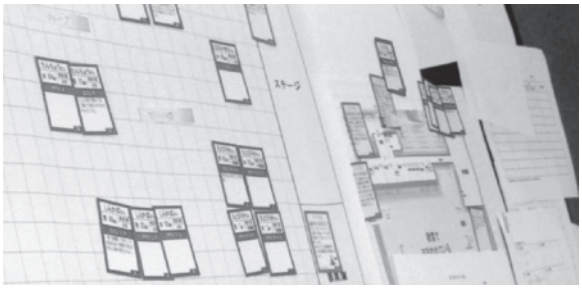
陽光園、スマイル、社協で構成している福島町福祉施設等連絡協議会では、介護職員のスキルアップ研修を実施しています。

避難所運営ゲーム北海道版Doはぐ

近年、全国各地で災害が多く発生しています。介護職員の防災意識とその対応力の向上を図るため、６月24日に北海道渡島総合振興局危機対策室の鎌田勇一氏を講師に福祉センターで研修を行いました。



防災の講義を受けた後、カードの例示によって避難所運営をグループで考えていく体験をし、「判断力と協働力」、トラブル発生時の対応など、研鑽を深めました。



安全な動作介助と安楽な体位変換

介護度の高い方の体位変換や車いすへの移乗などは、お互いに負担の少ない安全で効果的な動作が求められます。

９月３日に函館新都市病院の理学療法士、山鼻恵介氏と堀幹子氏の２名を講師に福祉センターで研修を行いました。



２グループに分かれての実技では、体位変換の手順や、ベッドと車いすの移乗で介護者の腰に負担のかからない手法などについて、学ぶことができました。



ご厚志ありがとうございました

社会福祉協議会が行う高齢者福祉活動に対し、次のとおりご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

輝　星　会	様　寄付金	23,800円
ひまわり会	様　寄付金	10,000円
安岡　若子	様　寄付金	50,000円
匿名希望	様　寄付金	10,000円
匿名希望	様　寄付金	10,000円

社協の人事異動

●**新採用**

（令和８年６月24日付）

訪問介護員　**阿　部　綾　香**